

東京オリンピック開催も相まって、「観光」や「インバウンド」という言葉が大きく意識されるようになってきている。地域においても、人の交流による気づきや意識の変化、移住・定住、そして経済的な波及効果などその効果が期待されている。こうした「観光」は地域文化を「活用（使う）」するもので、これを持続・発展させることにも寄与する。しかしながら、その地域文化の「つくり手」たちはたとえば、大きな見返りや直接的な利益を二の次にして、長い年月から見た意味を見出し、自らの生き様と重ねていることに、今号の取材を通して強く感じるようになった。そして、もう一つ、こうした文化のつくり手たちの所には、世界各地の文化のつくり手たちとの窓口があるということだった。すぐに利益を求めず、安易に迎合せず、そうした人たちが地域文化をつくり続けている。

これからも、全国地域ミュージアム活性化協議会では、文化資源を活かすと共に、独自の考え方をもち、地域文化を創造してきた人たちのさまざまな取り組みを取材し、地域文化振興に寄与していきたい。



目次：1…大原美術館／6…対談「地域文化のつくり手から」／15…瀬戸内サーカスファクトリー／17…小泉八雲記念館

地域ミュージアム

Fountains of Wisdom

全国地域ミュージアム活性化協議会機関紙 vol.3

発行 全国地域ミュージアム活性化協議会

〒690-2801 島根県雲南市吉田町吉田 2621 番地

TEL.0854-74-9058